



カKAWASHIMA
CONCRETE INDUSTRY INC.

河島コンクリート工業株式会社

・ SINCE 1955 ・



河島コンクリート工業株式会社

ご挨拶

弊社は昭和26年、コンクリート二次製品工場として創業し、昭和45年に生コンクリートの製造販売に転換しました。

環境保全、地域社会への貢献に邁進すると共に、近年、高強度化、多様化するお客様からのご要請にお応えするため、全社一丸、技術の向上に努力していく所存であります。

今後とも、なお一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役
河島 慎吾

経営理念

環境保全

地域社会への貢献

品質管理の徹底

KAWASHIMA CONCRETE INDUSTRY INC.

河島コンクリート工業株式会社

会社概要

- 所在地／〒175-0081 東京都板橋区新河岸1丁目11番8号
- TEL／(03)5921-0308 ■FAX／(03)5921-0908
- ホームページアドレス／<http://www.kawashima-concrete.co.jp/>
- 資本金／2,800万円
- 代表者／代表取締役 河島 慎吾
- 事業内容／生コンクリートの製造販売
- 敷地面積／4,000㎡ 用途地域(工業専用地域)
- 日本工業規格製品認証番号／TC0314007
- 高強度コンクリート 建築基準法第37条第二号の規定に適合認定
- 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例／工場設置認可番号 第10号
- 加盟組合／東京地区生コンクリート協同組合
東京都生コンクリート工業組合

沿革

- 昭和26年 9月 1日 練馬区氷川台4-1-7にて河島コンクリート工業創業 コンクリート二次製品の製造・販売
- 昭和30年 10月 18日 河島コンクリート工業株式会社設立
- 昭和45年 4月 1日 生コンクリート製造・販売に転換
- 昭和50年 4月 1日 バッチャープラント更新
- 昭和56年 8月 1日 バッチャープラント更新
- 昭和58年 4月 28日 日本工業規格表示許可工場(普通コンクリート・舗装コンクリート)
- 平成 7年 4月 1日 板橋区小茂根5-13-2に事務所を開設
- 平成 9年 9月 1日 バッチャープラント更新
- 平成14年 7月 1日 板橋区新河岸1-11-8に工業用地取得
- 平成14年 8月 29日 都民の健康と安全を確保する環境に関する都条例第81条第1項の規定による工場設置認可第10号
- 平成15年 2月 1日 河島コンクリート工業株式会社 新河岸工場操業開始(バッチャーミキサー3,000ℓ)
- 平成15年 5月 14日 日本工業規格表示認定工場(普通コンクリート・舗装コンクリート)
- 平成17年 5月 10日 建築基準法第37条第二号の規定に適合認定
- 平成17年 6月 20日 業界初の生コンクリート練り水冷却装置を設置
- 平成18年 6月 21日 日本工業規格表示認証取得 認証番号 GB0306012(普通コンクリート・舗装コンクリート、高強度コンクリート)
- 平成23年 5月 1日 バッチャープラント更新(ミキサー 3,300ℓ)
- 平成23年 7月 1日 産業用太陽光発電システム設置
- 平成23年 8月 1日 非常用ディーゼル発電設備システム設置
- 平成27年 3月 1日 日本工業規格製品認証取得 認証番号TC0314007(普通コンクリート・舗装コンクリート、高強度コンクリート)
- 平成29年 6月 16日 建築基準法第37条第二号の規定に適合認定

『環境配慮』

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づき
工場設置認可番号第10号を取得しています。

用途地域…工業専用地域
工場敷地面積
4,000㎡



『設備概要』

1 受入設備					
01	トラックスケール	60t (マルチロードセル地上式)			
02	骨材受入ホッパ				
03	骨材サイロ	粗骨材1	350t	細骨材1	350t
		粗骨材2	350t	細骨材2	350t
		粗骨材3	350t	細骨材3	350t
20	骨材ヤード	粗骨材1	150t	細骨材1	500t
				細骨材2	150t
04	セメントサイロ	300t ×2基 (セメント4種類)			
		1)300t サイロ(UBE三菱セメント(株))	セメント1	300t	
		2)300t 3分割サイロ(太平洋セメント(株))	セメント2	100t	
			セメント3	100t	
		セメント4	100t		
		80t ×1基 (セメント2種類)			
		1)80t 2分割サイロ(自社)	セメント5	40t	
			セメント6	40t	
05	骨材輸送用ベルトコンベア	550 t/h			

2 製造設備							
06	化学混和剤タンク	8本(新東産業(株))		09 骨材ビン	粗骨材1	34.0m ³	
		AE減水剤	8,000ℓ		粗骨材2	34.0m ³	
		AE減水剤	8,000ℓ		粗骨材3	35.0m ³	
		高性能AE減水剤	6,000ℓ		細骨材1	25.0m ³	
		高性能AE減水剤	6,000ℓ		細骨材2	19.0m ³	
		高性能AE減水剤	6,000ℓ		細骨材3	19.0m ³	
		空気調整剤	6,000ℓ		10 練り水ヘッドタンク	上水道水	2.0t
		AE剤(原液)	2,000ℓ			上澄水	0.5t
	予備	4,000ℓ	11 ミキサ	日工(株)製 DASH-200N-330			
07	水タンク(地下)	上水道水		150t	練り混ぜ容量	3,300ℓ	
		上澄水	300t	ミキサ瞬発力	100 B/H		
08	セメント貯蔵ビン	セメント1、セメント2	7.5m ³				
		セメント3、セメント4	6.0m ³				
		セメント5、セメント6	7.5m ³				

3 事務棟 12	
3階	役員室・会議室・応接室・経理室
2階	食堂・事務所(営業)・応接室
1階	事務所(出荷・製造)・試験室

4 諸設備	
13 自家用給油設備 20kℓ	17 練り水冷却装置
14 洗車場	18 産業用太陽光発電システム
15 車両整備場	19 非常用発電機
16 排水処理装置(脱水機・中和装置)	

レイアウト

3.骨材サイロ
(遮熱塗装)

16.排水処理装置
(中和装置)

15.車両整備場

19.非常用発電機

18.産業用
太陽光発電システム

12.事務棟

1.トラックスケール

13.給油設備

8.セメントビン
9.骨材ビン
10.練り水ヘッドタンク

20.骨材ヤード

11.ミキサ

4.セメントサイロ

6.化学混和剤タンク

17.練り水冷却装置

2.骨材受入ホッパ

14.洗車場

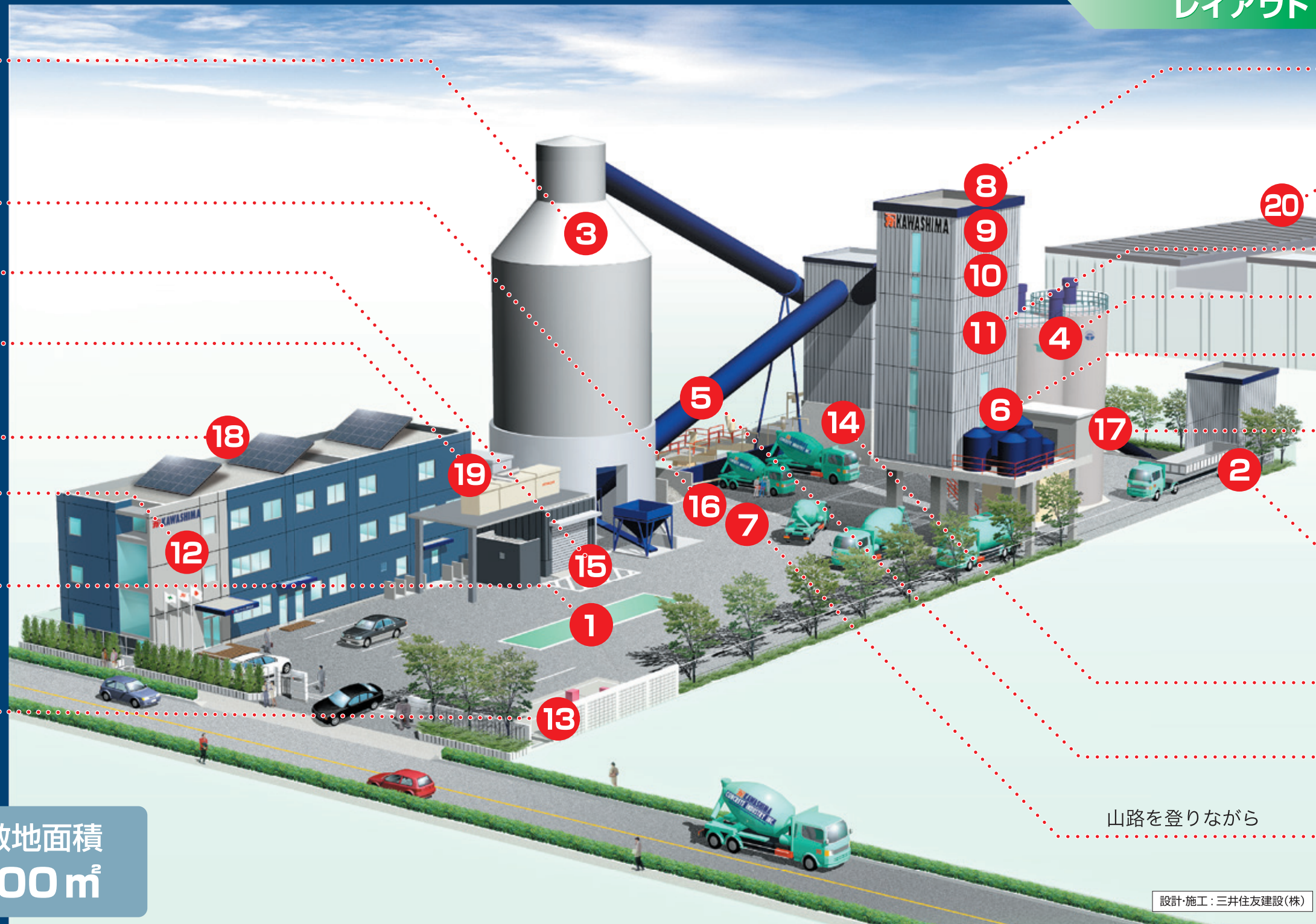
5.骨材輸送用
ベルトコンベア

7.水タンク(地下)

工場敷地面積
4,000 m²

山路を登りながら

設計・施工：三井住友建設(株)



『事務所各部位』



社長室



3階応接室



食堂



会議室



1階事務室



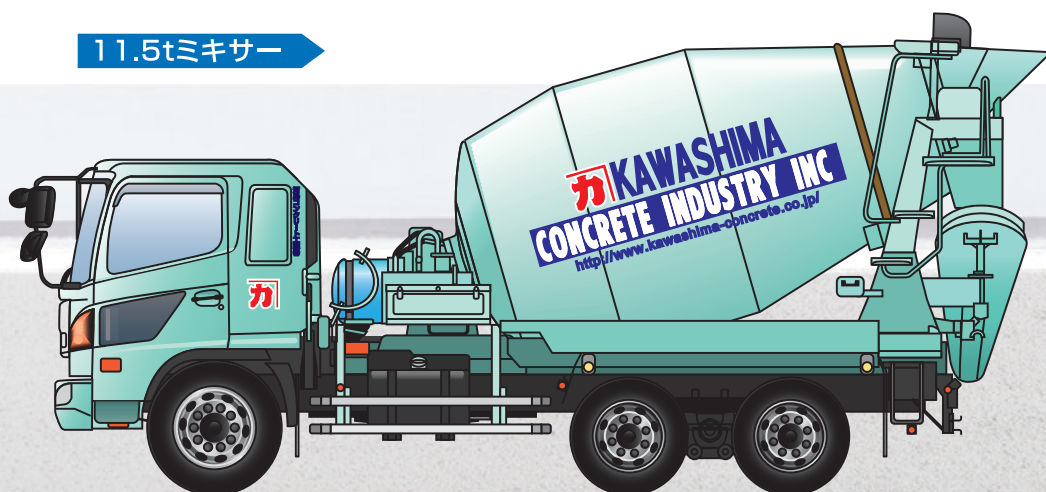
経理室

『トラックアジテータ』

安全運転励行のため、
ドライブレコーダー全車両搭載。



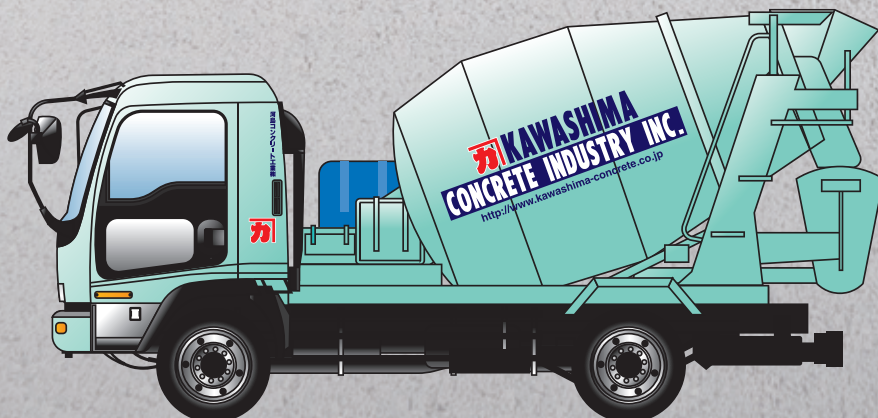
11.5tミキサー



11.5t ミキサー

全長(mm)	全高(mm)	全幅(mm)	最大積載量(kg)	車両重量(kg)
7,730	3,700	2,490	11,550	8,390

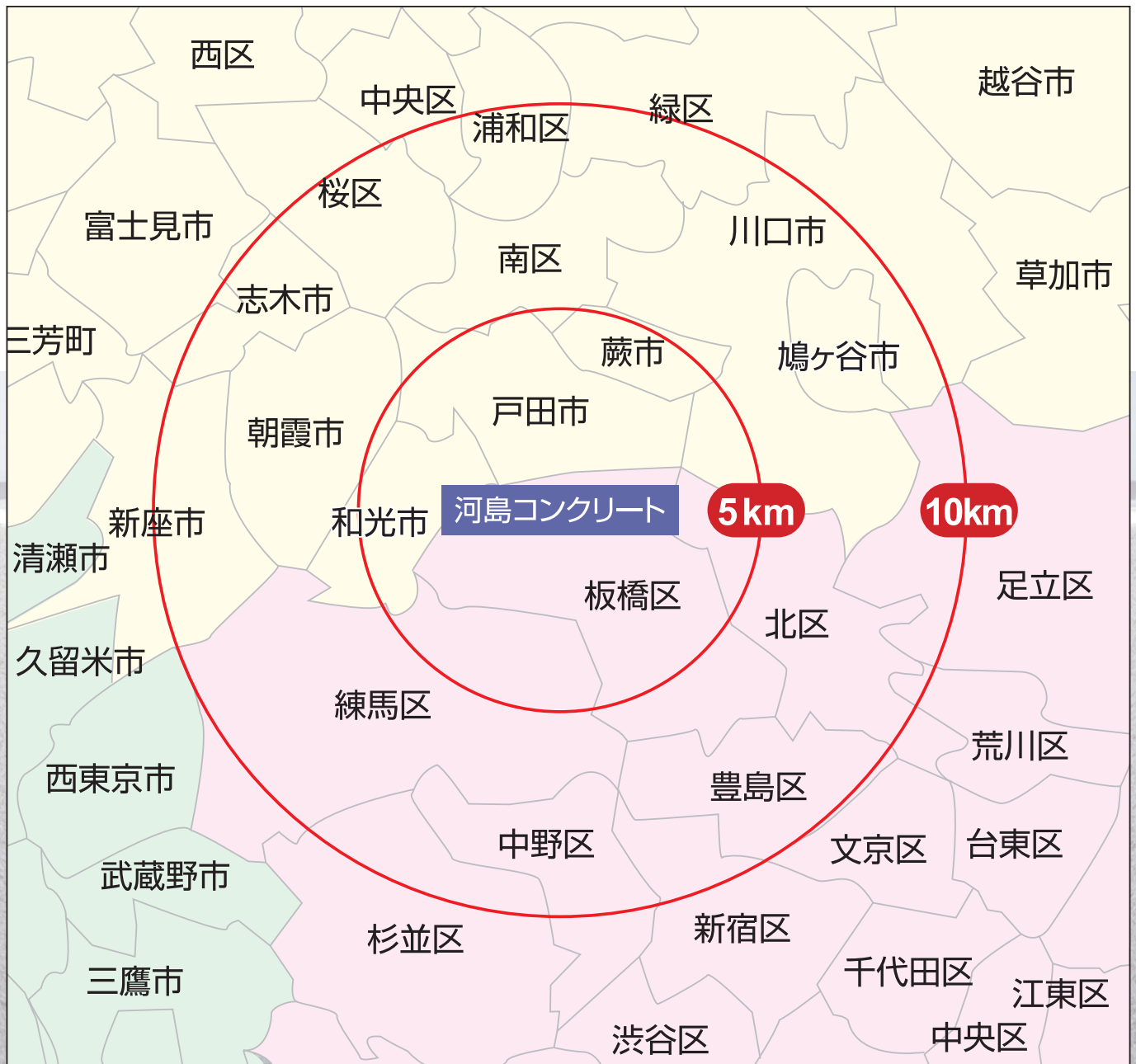
8tミキサー



8t ミキサー

全長(mm)	全高(mm)	全幅(mm)	最大積載量(kg)	車両重量(kg)
6,430	3,460	2,270	7,400	5,630

■ 供給エリア



■ 全車GPS運行管理システム(→p12)を搭載

『生コンクリート用練り水冷却装置』

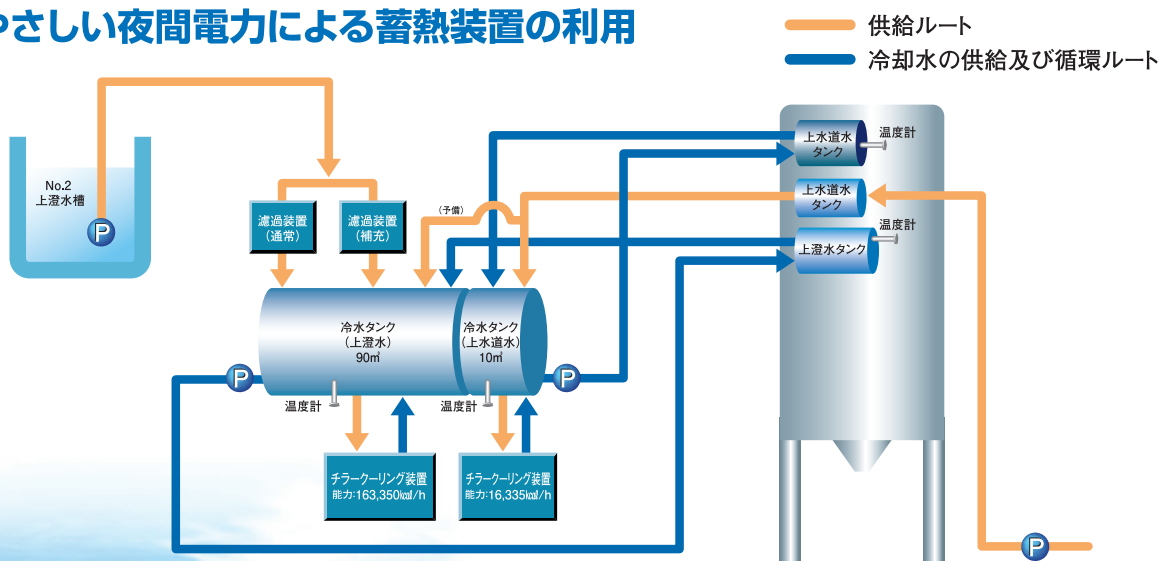
(クーリングダッシュ)

- 生コンクリート用練り水冷却水製造設備“Cooling DASH” (クーリングダッシュ)は、コンクリートの温度管理・単位水量規制遵守の背景を受け、日工(株)により開発されました。
- 本装置は、生コンクリート練り水温度(上水道水及び上澄水)を最低 2℃まで冷却することにより、練り上がり温度抑制・単位水量低減に有効性を発揮します。
- また、動力源においては、産業用蓄熱調整契約(=夜間電力)の適用を受けることにより、環境面においても配慮した設備となっています。

年間を通し 高品質の生コンクリートをお届けします

地球環境にやさしい夜間電力による蓄熱装置の利用

【設備フロー図】



練り水温度をデジタル表示で常時管理しています。

清水
切替SW

水温
表示BOX

水温
表示BOX

コントロールパネルに表示

練り水の温度管理 [2℃～常温]

冷却効果により

1. 耐久性の向上
2. 単位水量の増加を抑制
3. 長期材齢での強度増進
4. スランプロス の低減

が可能となり、

■ ひび割れの発生を抑制します

■ 安定した強度の増進が図れます

『GPS配車管理システム』

(スカイワン-II)

現場名	予定	納入	実績	完了	所要	残り
サンコート 氷川台	150.00	60.00		19台	30分	5分
...

各現場への納入状況が
一目で分かる
安心のシステムを
導入しています。

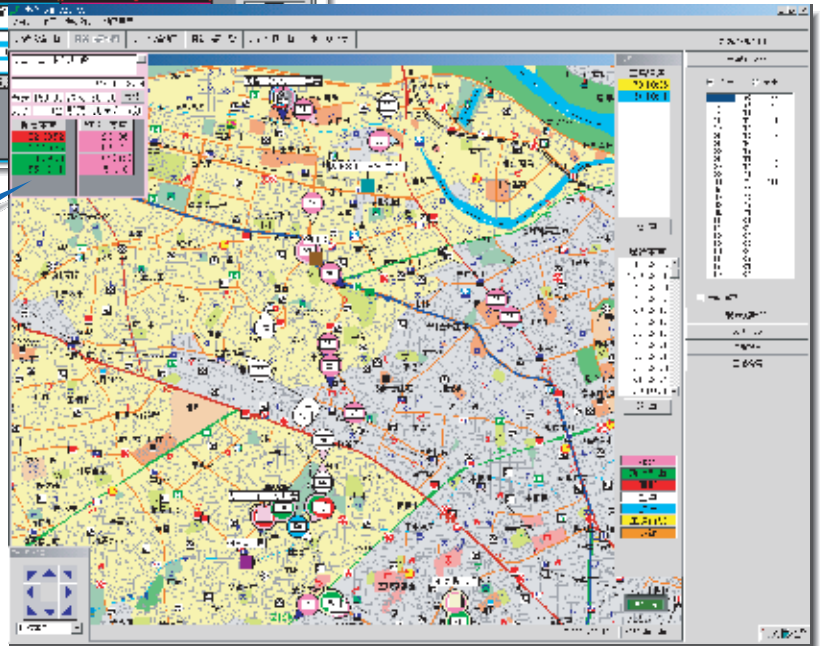
サンコート 氷川台

J27-18-20N

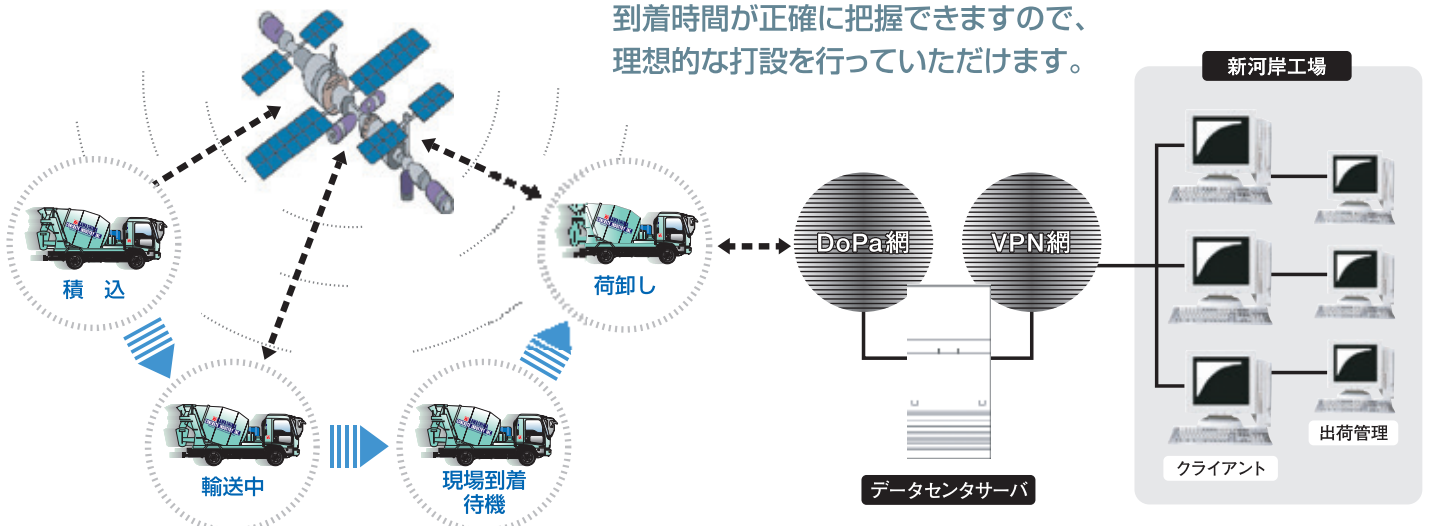
予定 150.00 納入 60.00 実績

完了 19台 所要 30分 / 5分

現着車両	積込・実車
82 08:52	20(36)
10 09:55	59(21)
8 09:58	61(15)
55 10:11	51(8)



到着時間が正確に把握できますので、
理想的な打設を行っていただけます。



『操作盤』

(トリニティ)

より正確な計量の為に2011年5月に最新型操作盤(日工製:TRINITY)を採用

- 出荷指令装置-バッチャープラント操作盤-動荷重実績記録装置-品質管理システムをネットワーク化し高品質で安定した生コンクリート製造体制を完備。
- 操作盤の運転に必要なガイダンス機能、故障原因を操作盤内部で特定する自己診断機能などを備えた最新型操作盤(日工製:TRINITY)を採用。
- 各部品の交換時期を新型操作盤が事前にアナウンス。これにより故障等のリスクが軽減。

◀ 連続式表面水率測定装置とスランプモニターで生コンクリートのスランプを管理。より安定した品質でご提供できます。

供給主画面

計量主画面

顧客サポートセンター

◀ 万が一のトラブルに備え、日工とリモートメンテナンス契約を締結、早期復旧が可能です。

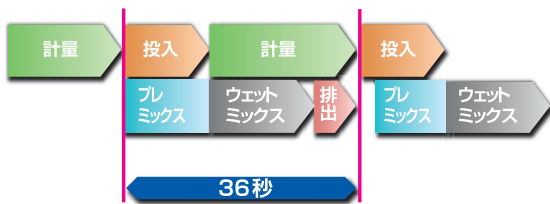
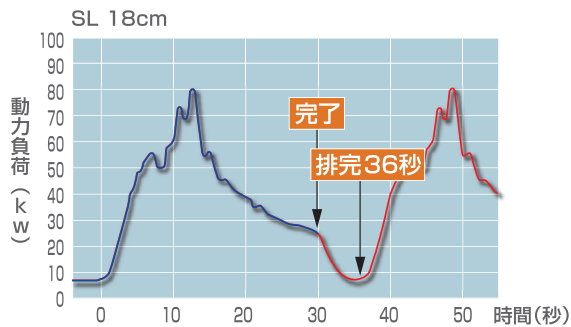
『ミキサ』

(DASH-200N)

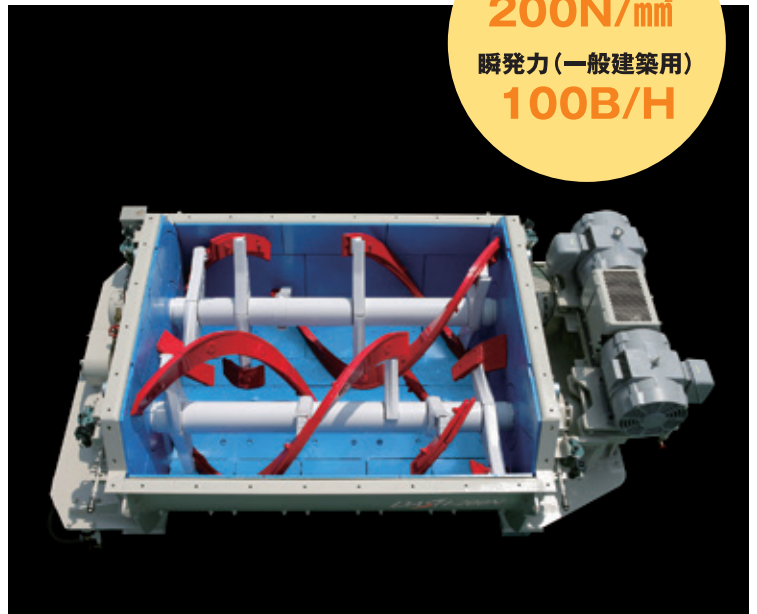
お客様のご要望に応える為、「瞬発力対応・高強度コンクリート対応」の最新型二軸ミキサ(日工製:DASH-200N-330)を採用。

- 当社が採用した最新型二軸ミキサ(DASH-200N-330)は、昨今増加傾向にある高強度コンクリートも短時間でよりスピーディに練り混ぜが可能。
- メンテナンス面、安全面に考慮したミキサを採用し、生コンクリートの更なる安定供給に努めております。
- 当社のバッチャープラントは2011年5月にリニューアル。現場様の様々なニーズにお応え致します。

建築普通コンクリート(DASH-200N ミキサ)



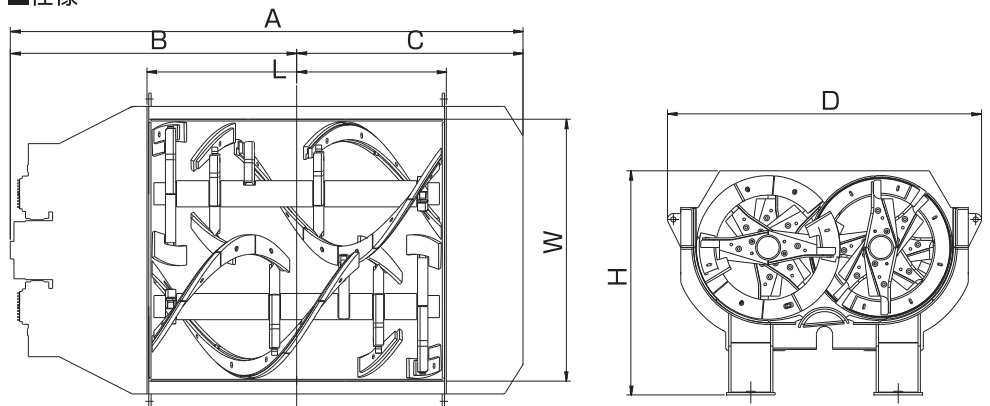
社団法人 日本建設機械化協会 建設機械化研究所 / 練り混ぜ性能試験実施



超高強度・高流動
200N/mm²
 瞬発力(一般建築用)
100B/H

型式	N-330	
練り混ぜ容量 (m ³)	3.30	
電動機 (kW)	55kW×2台	
寸法 (mm)	A	4,260
	B	2,430
	C	1,830
	D	2,608
	H	1,800
	L	2,600
	W	2,250
質量 (kg)	11,000	

■仕様



『非常用ディーゼル発電設備システム』

(サンパワー)

電力緊急時も生産設備を連続運転



日立製作所製非常用発電機 (サンパワー)



発電機 (小松製作所製)



発電機操作盤

発電機

モータ製作で培った豊富な経験とノウハウ、信頼性の高い発電機です。

ディーゼルエンジン

小松製作所製

制御装置

関連設備との協調を十分考慮したシステム設計は総合電機メーカーならではの。

当社が導入した非常用発電設備について

【導入時期】

平成23年8月

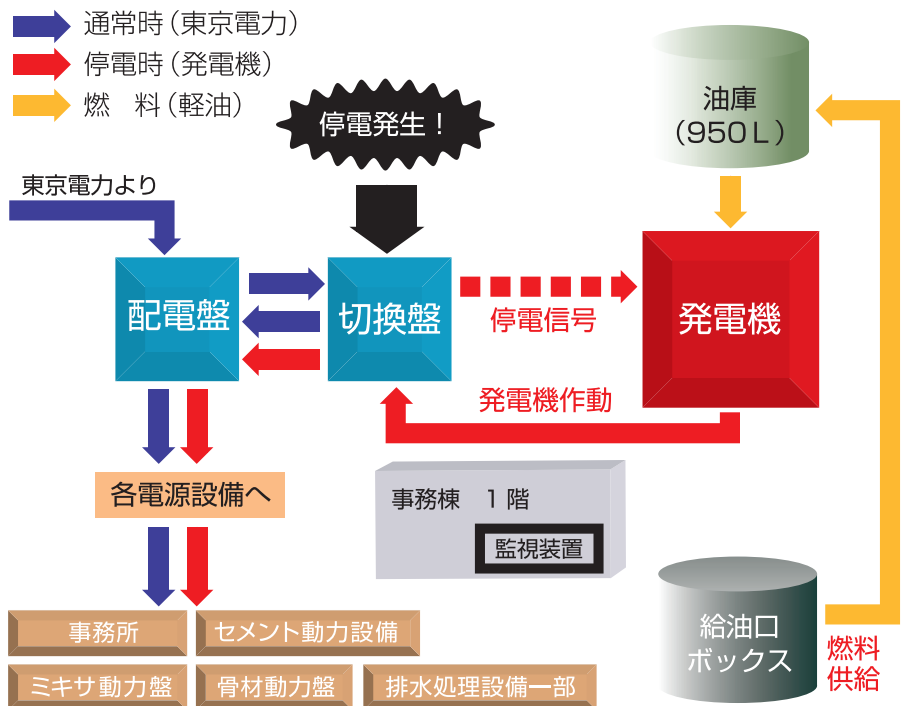
【非常用ディーゼル発電機本体仕様】

発電機容量: QSHDE-625J
 (株)日立製作所製
 発電機出力: 625KVA (500kW)
 エンジン仕様: 545kW
 電圧: 6600V
 騒音値: 85dB目標 (無負荷時)
 外形寸法: 7,500×2,200×2,750mm
 設備質量: 11,400kg
 周波数: 50Hz

【付帯機器】

切替盤 (高圧)
 燃料小出槽油庫 (950L 軽油)
 給油ボックス
 監視装置 (負荷容量確認)

日立製作所製非常用発電機 (サンパワー) システム



特長 ▶

(社)日本内燃力発電設備協会 認定品

停電時に素早く負荷へ電気供給対応 (10秒)

冷却水系統がパッケージ内でクローズされ、震災に強い構造

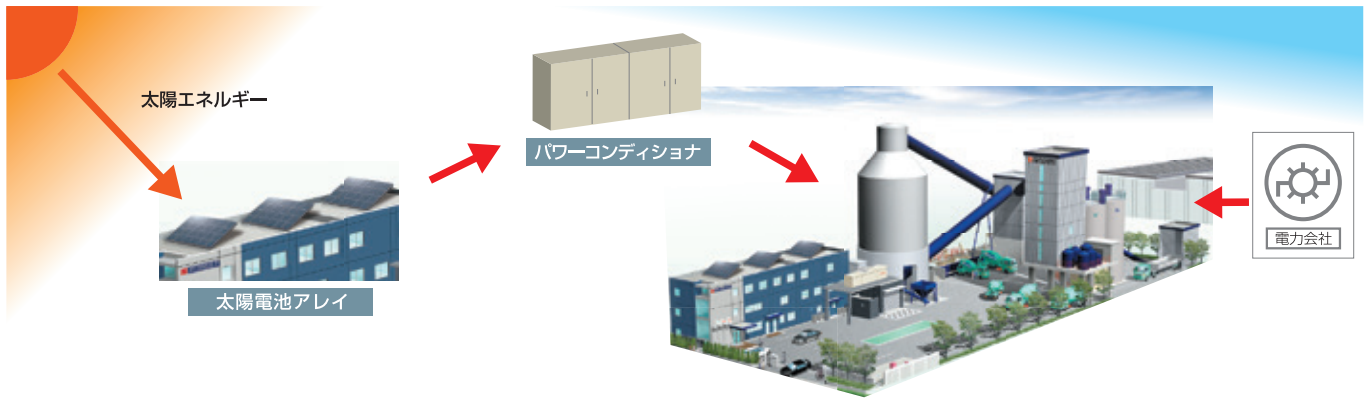
長時間運転可能 (燃料タンク別置950L 132L / 1h 約7時間運転可能)

『太陽光発電システム』

(サンビスタ)

電力会社の電気と組み合わせた防災型太陽光発電システム

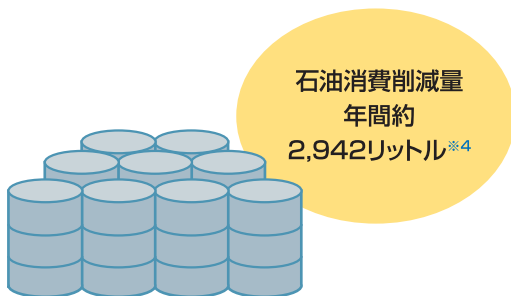
通常は系統連系型システムとして、太陽光エネルギーと電力会社からの電力を組み合わせて使用します。災害で停電などが発生した場合は、太陽光エネルギーを非常用照明など特定の設備だけに供給。



シャープ産業用太陽光発電システム



太陽電池モジュール	NU-180LW 180LW	72枚
パワーコンディショナ	JH-GOC4 5.5kW 4回路	2台
交流集合盤	2回路	1台



CO₂を排出しない環境貢献度高いシステム

12.96kWシステムを導入した場合、年間予測発電量は約13,543kWh^{※1}、これは原油消費削減量としては年間約2,942リットル、CO₂排出削減量は杉の木290本分^{※2}の吸収量(約4,08kg-CO₂)^{※3}に相当します。

※1 結晶モジュール NU-180LW×72台=12.96kwシステムで、東京都板橋区傾斜角20°で試算。

※2 林野庁「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策(H14)」による50年生のスギ1本あたり1年間に14kgのCO₂を吸収するとして換算。

※3 結晶系シリコン太陽電池の削減量314.5g-CO₂/kWhで試算。

※4 火力発電の石油消費削減量を1kWhあたり0.227ℓとして試算。

『工場設備』



セメントサイロ



クーリングダッシュ全景



チラー内部配管



洗車設備

車両整備場



自家用給油設備



骨材受け入れホッパ

冷却装置監視計



操作盤



『試験設備』



供試体端面仕上げ機



全自動デジタル耐圧試験機 2000KN



型枠掃除機



養生室



単位水量測定用器具



単位水量測定用器具(携帯型)



交通のご案内

- 都営地下鉄三田線「西台」駅から徒歩約12分
- JR埼京線「浮間舟渡」駅からバス10分
- 首都高速5号池袋線中台JCTより車で5分

カ KAWASHIMA
CONCRETE INDUSTRY INC.
 河島コンクリート工業株式会社